

本会議から付託された議案7件を審査するため、平成29年6月20日に総務生活委員会を開催しました。

## 承認第1号 専決処分の承認を求めることについて 平成28年度総社市一般会計補正予算（第10号）

### ～内容～

歳入では、市税、地方交付税、寄付金及び市債等の確定及び確定見込みに伴う減額、また、歳出では基金積立金の積立額確定等に伴う減額が主なもの

### ～結果～

次のような審査の結果、全員一致で承認すべきであると決定。

### ～質疑～

**問：ふるさと納税寄附金は2億3,000万円が減額されている。本年度の見通しはどうか。**

答：本年度も平成28年度と同程度の寄附額を目標としている。一方、総務省からの通知で、返礼品の返礼率を3割以下に下げようの方針が示されている。本市では、返礼率が3割を超えているものもあるので、概ね今年の秋を目途に見直しをしていくように考えている。お米についても、平成30年産以降は取扱いを見直したい。

**問：旧堀邸修繕事業の繰越明許の理由はどうか。**

答：堀邸が古民家であり、確保した予算では、なかなか落札されず、契約までの時間を要したこと、また、狭いところで、がれきの搬出も人の手ですることになり、工期が長く掛かることになったことなどが理由である。

## 承認第2号 専決処分の承認を求めることについて （総社市税条例の一部改正）

### ～内容～

関係法律が公布されたことに伴い、総社市税条例について早急に改正を加える必要が生じたもの

### ～結果～

質疑討論もなく、全員一致で承認すべきであると決定

## 承認第3号 専決処分の承認を求めることについて (総社市都市計画税条例の一部改正)

### ～内容～

関係法律が公布されたことに伴い総社市都市計画税条例について早急に改正を加える必要が生じたもの

### ～結果～

質疑討論もなく、全員一致で承認すべきであると決定

## 議案第35号 財産の取得について

### ～内容～

災害対応特殊救急自動車を購入するに当たり、予定価格が2,000万円以上であることから、市議会の議決を得ようとするもの

### ～結果～

次のような審査の結果、全員一致で原案を可決すべきであると決定

### ～質疑～

問：災害対応特殊救急自動車の出動範囲はどうか。普通の救急車として使うのか。また、どこに配置するのか。

答：緊急消防援助隊設備整備費補助金を活用して購入するもので、そのような名称にしているが、用途は一般救急自動車と変わらない。本署への配置を予定している。

## 議案第36号 財産の取得について

### ～内容～

災害対応特殊消防ポンプ自動車を購入するに当たり、予定価格が2,000万円以上であることから、市議会の議決を得ようとするもの

### ～結果～

次のような審査の結果、全員一致で原案を可決すべきであると決定

### ～質疑～

問：入札は予定価格を上回り不調となるとともに、購入価格は本年度の当初予算4,000万円を上回っている。情報収集不足とも見受けられるが、金額が高くなった理由はあるか。

答：昨年度の早い段階で予算額を設定していたが、人件費の上昇、資機材の値上がりがあったものと考えている。

## 議案第 37 号 総社市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について

### ～内容～

インターネットを利用した電子的な行政手続等を推進するため、必要な事項を定めようとするもの

### ～結果～

次のような審査の結果、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定

### ～質疑～

問：市民にとって、手続きのメリットはどうか。

答：今後、条件整備を行えば、住民票や税の証明がインターネットで申請でき、市では、申請を受けた後、郵送で市民に送付できるようになる。また、他の届出なども電子申請できるようになる。

## 議案第 41 号 平成 29 年度総社市一般会計補正予算（第 1 号）

### ～内容～

旧雪舟くんを公用車として使用するための車検代等の経費、防災士組織活動補助金等の増額が主なもの

### ～結果～

次のような審査の結果、本委員会の所管に属する部分は、全員一致で**原案を可決**すべきであると決定

### ～質疑～

問：雪舟くんの旧車両について、9台はどこに配置するのか。また、それに伴い不要になる公用車はどうするのか。

答：9台の車は各部に割り当てる。財政課の所管するワゴンタイプの車が4台あるが、今回そのうちの2台を廃車する。

問：コンビニエンスストア収納業務について、どこのコンビニでも公金を支払えるようになるのか。

答：コンビニ収納は、収納代行業者をとおして行われる。収納代行業者はほとんどのコンビニと収納代行の契約をしているので、ほぼ全てのコンビニで支払えるようになる。

問：防災士資格取得者の支援は今後どのように考えていくのか。

答：防災士が地域の中で活躍してもらえるように支援をしていきたい。これまでも山田地区や水内地区で防災のマップ作りの際に、防災士に各グループでのアドバイスをしてもらったりしたが、今後も市と協力体制ができればと考えている。